

## 目 次

1. 本システムについて	2
2. 本システムの提供ファイル	3
3. レコードメインからイベントへの移行	4
3-1 タスク前処理／タスク後処理	4
3-2 レコード前処理／レコード後処理	4
3-3 カーソルの動く順序	5
3-4 コマンドの移行	5
3-5 フローモード／フロー方向	7
3-6 イベント実行コマンド	7
3-7 プッシュボタン	7
3-8 ズーム処理の移行	8
3-9 TAB 順序	9
(実際に移行する時の最善策)	10
4. 見積伝票入力概要	11
5. 受注伝票入力概要	12
6. 売上傳票入力概要	13
7. 入金伝票入力概要	14
8. 請求処理のフロー	15
9. 売掛処理のフロー	17
10. テクニック集	
10-1 F5 キー(ズーム)の設定	18
10-2 プッシュボタンの実行元	19
10-3 画面の拡張機能	19
10-4 サブフォームの設定	20
10-5 エクセル風／左項目固定画面	21
10-6 エクセル出力	22
10-7 メール送信	24
10-8 CSV 出力	25
10-9 プレビュー機能	25
10-10 PDF 出力	26
10-11 ファンクションキー押下時のダミー処理	26
10-12 公開名によるプログラムコール	27
付録(モデル一覧・テーブル一覧・プログラム一覧)	28

## 第1章 本システムについて

本システムは、Magic xpa 3.2 開発者向けの学習教材(サンプルプログラム)として作成いたしました。より業務に近く、より実用的な素材として販売管理システムの一通りの機能を備えております。この教材が、今後の皆様の開発にお役に立つことができれば幸いです。

いくら Magic で開発をしたとしても、個人によって開発手法の差はありますし、同じ機能を実現するにも開発手法は一つではありません。いくつかのやり方があります。本システムはあくまでも一つのサンプルとして捉えて下さい。

なお本プログラムは、プログラムの読みやすさ・分かりやすさに重点を置いているため、細部に渡るエラー処理は組み込んでおりません。パッケージ製品のようにそのまま稼働させて利用することを目的としたアプリケーションではありませんので、実際のシステムを開発される時には、細部においてもエラー処理を考慮する必要があります。本システムの趣旨をご理解の上、その点をどうかご了承下さいますようお願い申し上げます。

また、Magic 本来の開発手法に慣れていただくために、旧 Magic のレコードメイン互換(RM 互換)は一切使用せず、すべてイベントドリブン型で作成いたしました。

## 第2章 本システムの提供ファイル

本システムで提供されているファイルを、フォルダーごとに紹介します。

フォルダー名	ファイル名	内 容
C:\WitCS32	WitCS32.edp WitCS32.ecf	本システムのプロジェクトファイル 本システムのキャビネットファイル
C:\WitCS32\DAT	*.DAT のファイル	データファイル一式
C:\WitCS32\ENV	act_rnt_wit.jpn clr_rnt_wit.jpn fnt_rnt_wit.jpn *.xls のファイル	キーボード割付ファイル 色定義ファイル フォント定義ファイル エクセル出力用の原紙となるファイル
C:\WitCS32\Exports	(空)	
C:\WitCS32\MAS	*_M.DAT のファイル	マスタファイル一式
C:\WitCS32\Source	*.xml のファイル	プログラム等のソースファイル一式

その他にドキュメントとして、「インストールガイド」「操作ガイド」「開発者ガイド(本書)」があります。